

日比谷メーデー



今年の日比谷公園開催ではなく、
 亀戸中央公園での初の開催、土砂降り
 の中皆様お疲れ様でした。



礎

発行責任
 文京支部執行委員長
 編集責任
 組織部

文京支部参加12名
 (うち青年部4名)

文京支部の仲間たち



参加者感銘文

今回のメーデーは最低賃金
 の話に触れていました。高
 市政権で最低賃金1500
 円を目指すことに対して、
 全う出来て無いことを言っ
 てきました。多少は給料も上
 がり始めた。改善はきてい
 るとは思いますが、アメリ
 カとイランの戦争、これら
 油価格も上がり、これら原

青年部の仲間たち



インフレーションになり、今の給
 料ではほとんどの人にとって
 厳しい生活が待っていると
 思います。是非とも給料アッ
 プに向けて頑張っていただ
 けです。

酒井裕樹



初めに、当日の生憎の大雨は、
 参加者の方々に、式典ではあ
 りませぬと、憲法改正の反対
 運動の拡大や、労働者の権利
 対しての短気な労働時間での
 中にも、賃上げの是非を問
 るように、是非実現
 してほしく、思い
 ました。
 最低賃金を1700円に
 計なインフレもありました。
 ぐには、実現出来ないと思
 い、賃金を増やすように少
 づつの訴えで改善していく
 とが大切だと思います。
 桑原拓哉



日比谷センターに、
 働く人たちが声を
 上げて、連帯するこ
 との大切さを上
 げて、改めたい。環
 境が、改善され、
 賃上げの労働環境
 平和の思いを共有
 され、中絶の士が
 たが、参加者同士
 合意が、歩みを進
 した。想像が、集
 想像が、歩みを進
 な声です。多くの人
 なることでも、社会
 た、普通の社会で
 見ない、自分自身
 じ、ない、自分自身
 来にも、ついでに、
 にも、ついでに、
 の大切さを学んだ。
 雑波 剛司

